

外国語活動、外国語（英語）

言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する授業づくり

授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

- ① 目標を達成した児童生徒の発話等を具体的に想定して単元や授業を構想するとともに、適切な評価規準や評価場面を設定する。
- ② コミュニケーションを行う目的や場面、状況等と関連付けて言語材料を活用し、相手に応じて適切な表現を選択しながら話したり書いたりして自分の考え等を伝え合うことができるよう、学習過程の改善・充実を図る。
- ③ 言語活動を通して資質・能力の育成が図られるよう、単元や授業において計画的に言語活動を設定するとともに、児童生徒が実際に英語を用いて活動する機会を十分に保障する。
- ④ 児童生徒が必要に応じてALT等とやり取りを行って表現を確認したり、ICTを活用して情報や考え等を発信・共有したりできるようにする。
- ⑤ 言語活動で表出した変容を見取り、中間指導で定着を図りたい表現を全体で共有したり、伝えたい内容等を再考する場面を設けたりすることで、児童生徒の学習の改善につなげる。

言語活動を通して、発表内容の改善や充実を図る学習の例

小学校第6学年

単元名 「Let's see Akita.」 (Let's see the world.より)

必要感をもって言語活動に取り組めるよう、興味・関心に応じて単元のゴールの活動を設定します。 ①

◇単元の目標（一部）

ALTの家族に、自分の考えや気持ち等を含めて、秋田のおすすめの場所を伝えることができる。

[思考力、判断力、表現力等]

◇単元の主な学習活動（全7時間）

【第1～3時】

○単元の見通しをもつとともに、様々な国についての紹介の内容を聞き、概要を捉える。

【第4・5時】

○行きたい国と、その国でできることや感想等について紹介し合う。また、秋田のおすすめの場所を紹介するためのメモを作成する。

【第6・7時】

○プレゼンテーションソフトを使って、秋田のおすすめの場所を紹介し合う。その後、ALTの家族に向けてビデオレターを作成する。

■外国語教育における学習過程

- ① 設定されたコミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解する。
- ② 目的に応じて情報や意見などを発信するまでの方向性を決定し、コミュニケーションの見通しを立てる。
- ③ 目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行う。
- ④ 言語面・内容面で自らの学習のまとめと振り返りを行う。

上記の学習過程は必ずしも一方の流れては無く、指導のねらいや児童の実態に応じて戻ったり繰り返したりする場合があります。授業の中で、必要に応じてコミュニケーションを行う目的や場面、状況等に立ち戻ることが重要です。



◇本時のねらい（6/7）

ALTの家族が行ってみたいと思うように、メモを基に秋田のおすすめの場所を紹介することができる。

◇本時の主な学習活動

1 ALTの家族からのビデオレターを視聴し、コミュニケーションを行う目的等を理解する。

T: What did they talk about?

S1: 8月1日に秋田に来る予定です。

S2: 秋田の食べ物や文化を知りたいと言っていました。

T: OK. So, "Today's Goal" is this. Say it together.

ベン先生の家族が行ってみたいと思うように、秋田のおすすめの場所を紹介しよう。

2 前時に作成したメモを基に、個人で発表練習を行う。

3 Activity① 相手を変えながら、ペアで複数回発表し合う。

S3: Hello. Let's go to Yuzawa. You can enjoy Tanabata Festival in August. You can see beautiful Edoro. You can eat food, too.

4 友達の発表を聞いて気付いたことを生かし、よりよい表現を確認したり、自分の発表内容を修正したりする。

T: S4-san, please show us your presentation.

S4: Hello. Let's go to Yokote. Do you like snow? You can see Kamakura in summer, too. It's very cold and interesting. You can eat Yokote Yakisoba. I like Yokote Yakisoba very much. It's very delicious.

S3: (…そうか。質問をすることで興味をもってもらえるし、自分の気持ちや感想を伝えると、ベン先生の家族がもっと湯沢に行ってみたいと思うのでは…。)

〈これまでの言語活動を踏まえ、S3が修正した発表内容〉

S3: Hello. Let's go to Yuzawa. **Do you like festivals?** You can enjoy Tanabata Festival in August. You can see Edoro. **It's very beautiful.** You can eat food, too. **I like Orandayaki very much. It's very delicious.**

5 Activity② 再度ペアで発表し合うとともに、発表を録画して提出する。

6 本時の学習を振り返り、共有する。

主体的に学習に取り組めるように、コミュニケーションを行う目的等を言語活動の前に確認することが大切です。 ②

言語活動を通して自身の発表の改善点に気付けるように、できるだけ多く発表し合える場を設定します。 ③

ねらいに迫る発表を共有し、他の児童の気付きを引き出しながら、発表のよい点について確認します。また、言い表すことができずに困っている表現についても確認します。 ④⑤

言語活動や中間指導、振り返りの場面等で、必要に応じてコミュニケーションを行う目的等に立ち戻り、確実にねらいを達成できるようにします。 ⑥